

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日本軽金属ホールディングス株式会社（証券コード:5703）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

A-
安定的

■格付事由

- 日本軽金属グループの純粋持株会社。長年培ってきた技術や知見、多様な得意分野をもつ子会社間の連携を活かし、高い開発力を強みとしている。自動車、輸送、エレクトロニクス、食品を中心に顧客層も幅広い。当社はグループ全体の統括会社として経営戦略立案や資金調達などの機能を担っており、グループの一体性が強いことから、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。UACJ 製箔と当社の連結子会社の東洋アルミニウムの統合に際し、当社は同社の全株式を売却する予定であるが、独占禁止法に基づく手続きの遅れなどにより延期となっている。
- 業績が持ち直しつつある。トラック架装事業を中心として原燃料の値上がりに対して遅れていた販売価格への反映が進展し、収益性が改善している。板材や押出製品は半導体関連需要が調整局面にあることなどを要因として販売数量の本格的な回復には至っていないが、中期的には需要が拡大していくと考えられる。また、北米における自動車用サスペンション工場の立ち上げなど海外事業の強化が進んでおり、今後の利益の向上に寄与すると想定される。財務面では積極的な設備投資を行う方針だが、営業キャッシュフローの改善により現状程度の財務内容は維持可能とみられる。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 24/3 期経常利益は 160 億円（前期比 80.6%増）と 3 期ぶりに増益となる見込みである。販売価格の改定によって加工製品、関連事業の収益性が大きく向上することが主な要因である。25/3 期以降も業績改善傾向が続くと考えられる。自動車や半導体関連業界向け需要の回復を捕捉し、各事業で販売数量が増加するとみられる。
- 24/3 期第 2 四半期末の自己資本比率は 39.9%と 23/3 期末並みの水準にある。新中期経営計画（24/3～26/3 期）では今後 3 年間で 1,120 億円と従前と比べ高水準の設備投資が計画されている。一方、キャッシュフロー創出力も向上する見通しであり、財務構成が悪化する懸念は小さい。なお、東洋アルミニウムの売却が実現すれば、当社が連結対象から外れることで有利子負債が減少し、一定程度財務内容が改善すると想定される。

（担当）上村 暁生・近藤 昭啓

■格付対象

発行体：日本軽金属ホールディングス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年11月15日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付の視点」(2003年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 日本軽金属ホールディングス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与に係る手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル